

# ニュースレター No.11

発行：2001年10月

## ◆環境モニターが市内の「秋の野草」を調査しています！

調布の野草の分布はどうなっているのでしょうか。武蔵野と呼ばれたかつての調布では、雑木林の下草や、田畑のすみっこや水辺に生える野草が四季を通じて人の生活に密着していました。有名なものには、古代から染物の原料として使われた「ムラサキ」がありますが、それ以外にも春の七草として親しまれたナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、セリなどがあります。ムラサキは野草としては絶滅してしまいましたが、多くの野草の実態がどうなっているのか、環境を反映する植物の調査が必要とされています。環境モニターは、目に付く秋の野草として昔から親しまれ、花をこの季節に咲かせるヒガンバナ、キツネノカミソリ、ツルポを選びました。セイタカアワダチソウは外来植物として、その分布を一緒に調べることにしました。

●市を四つの地区に分けて調べています。

市を東部、北部、南部、西部に区分してモニターが分担して調べています。東部には入間町、若葉町の崖線樹林があり、まだ手入れがされている雑木林も残されています。北部には深大寺に隣接する崖線樹林が、また植木畑が多くあります。南部には住宅地が連なっていますが、府中崖線沿いのヘビ山や市内最大のオープンスペースである多摩川の河川敷が調査対象となっています。西部もほとんどが住宅地ですが、野川公園、調布基地跡地があります。調布は近隣の市や区に比べ複雑な地形で、それぞれの地区に特徴的な自然が残されています。

これまでの調査ではキツネノカミソリの分布が狭まり、個体数も減っているように感じます。その反面、思いもかけないツルポの群落を発見しました。調査の結果が楽しみです。

●環境モニターを追加募集しています。

4種類の植物調査ですが、市内くまなく調査するのは大変な作業です。植物の名前を覚えられるなど、楽しいこともあります。興味のある方は、環境保全課までご連絡ください。

## ◆お気づきですか？

今年は2回続けて雨台風がやってきました。野川や多摩川の生き物への影響はどうでしょうか？

先日、野川・里山探険隊で多摩川に出かけてきました。高水敷（グラウンドある面）の影響は、ほとんど見られないものの、水際は大きく侵食されているところがありました。特に日本最大の人工ワンドの変化は顕著です。ワンドのそばにある巨石案内板の写真と比べてみるとその変化がよくわかります。



ツルポ

多摩川の土手に大きな群落があるにもかかわらず、あまり知られていない



ヒガンバナ

秋の野草としてはあまりにも有名。鮮やかな朱色を市内のあちらこちらで見ることができる

### 一内 容一

秋の野草調査実施中！

調布市内での活動報告

連絡会議議事要旨

イベント情報

## 調布市内での活動報告！

### 子どもエコクラブ

今年度の活動は、サポーターの担当ごとに『調べ隊』を編成しました。『調べ隊』とは、「野鳥と自然」、「水辺の生物と調布の気温」、「葉っぱ」、「調布のごみ」の4つです。

9月22日(土)には、「野鳥と自然調べ隊」の第1回が実施されました。夜来の雨がすっかり上がり、すがすがしい朝を迎え、総勢35人が午前9時京王多摩川駅に集まりました。追加募集に予想以上の応募があり、我々サポーターも講師も嬉しい悲鳴をあげました。早速、多摩川べりへ移動、雨上がりの水溜りをよけ、先日の台風の爪あとを残す川原を観察しながら下流へ向かいました。

野鳥は、時期的には夏鳥と冬鳥の交代のはざままで姿はまばらでしたが、カワウ、カルガモ、コサギ、ダイサギ、ヒバリ、トビなど十数種類確認できました。野鳥のほかに子ども達は虫とりに、お母さんたちは野草観察にも熱心でした。市民広場まで3時間様々なものを観察しながら歩き、次の11月10日(土)の再会を約束して解散しました。

なお10月14日(日)には「水辺の生物調べ隊」の三浦海岸行きが予定されていますが、申込み多数で抽選となりました。行けなかった人ゴメンナサイ。

### 凸凹山ワークショップ 9/11(火)世話人会

8月4日に実施のイベント「凸凹山探検隊」について反省と意見交換。崖線の竹や草葉を使った遊び、植物調査などを行い、現地のみどりの特性がわかりました。次はこれまでに出版されている「布田崖線緑地・凸凹山児童公園の基本構想」3案から1つの案に決めるなど、来年度の事業計画づくりに向け準備していきます。(発信：江刺)

### ちょうふ DE 田んぼ日記その5

#### 「捕らぬタヌキの皮算用」

9月29日、30日に稲刈りを行います。この田んぼ日記が出る頃にはおよその収穫量が出ていることでしょう。先日、刈り取り準備のため、はさかけのはさ(稲架)を作るので足場の部分を刈り取りました。そのときの手応えがいまひとつという感じなのです。ぶんけつが少し足りないかな？という程度なんです。これまでは我が田んぼはぶんけつがいいという評判だったのに。心当たりがあるとすれば、種籾を蒔きすぎて苗の生育がちょっと悪かったことくらい。やはり、捕らぬタヌキの皮算用だったか？ 次回にはその答えが...

(野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻)

### 雑木林塾 今年度の講座の概要が決定！

8月23日(木)15名の参加者で開催された第1回運営会議での話し合いを受け、具体的な取組みについて、運営会議が9月10日(月)と25日(火)に各々約8名の参加者で開催されました。

会議では今年度の活動の中心になる「**雑木林塾連続講座**」(全6回)の概要が決まりました。

- 1回目：雑木林公園の管理作業体験
- 2回目：市内樹林地の観察と作業計画作り
- 3回目：雑木林の講義と市内樹林地管理作業
- 4回目：生態学入門/雑木林の生き物たち
- 5回目：管理作業・イベント計画
- 6回目：イベント(塾生の募集と啓発活動)

講座の日程や内容の詳細と募集については、次号や市報、掲示ポスターにてお知らせします。また、将来的な方針や計画づくりを講座と並行して運営会議で検討していくことが話し合われました。

年々市内の樹林地が減少する中、この雑木林塾では10年先の調布の林を育むために、勉強会や実習など様々な取組みを行っていきます。運営会議へのみなさんの積極的な参加、参画をお待ちします。今回は、公開講座や将来計画検討のためのより具体的な内容について意見交換していきます。

●次回運営会議 10月15日(月)18:30~

市役所 8F 会議室

### 野川・里山探検隊

9月24日快晴の中、二ヶ領上河原堰で多摩川の生き物観察を行いました。まずは堰の上でカワウと魚の観察です。この日は水量が多くて川に降りられないので、高圧線にとまっているカワウを見ている間に、Sさんにモツゴ、ドジョウなどをタモ網で捕ってもらい、プラスチックコップに入れて観察。次に堰の下に泥の積もっているところを発見！何やら変な足跡を見つけ、ネズミだ、トカゲだと推理していたら、爪の形からカメの足跡と断定！少し下流に移動2羽のカラスを見つけ双眼鏡の使い方の学習をしました。最初は視界の中に入れることができなかった隊員達ですが次第に隊員の口から「入った！」の声が届き始めた頃、日が少し傾き初めました。日没を待つ間にワンドの前でバツ取りはクルマバツ、ショウリョウバツなどは捕れるのですがトノサマバツは捕れませんでした。府中用水の合流あたりで、水面から魚を観察し、休憩をしている間に日の入りを迎えいよいよ本日のメイン、鳴く虫の観察です。カンタンを探して約30分、その間エンマ、オカメなどのコオロギが聞き分け、帰り道に付く頃にやっとカンタンが見つかりほっと胸をなで下ろす観察会でした。



# 第 11 回 連絡会議 議事要旨

## ●第 11 回連絡会議の議題

- ① プロジェクト等の情報交換
- ② ワークショップのプログラム検討
- ③ 課題の整理と方針の検討
- ④ その他

日 時 平成 13 年 9 月 19 日 (木)  
18:30~20:30  
場 所 調布市役所 6F 第 6 会議室  
出席者 14 名

## ◆連絡会議で話し合われた内容は…

### 1. プロジェクト等の情報交換

連絡会議はおもに情報交換の場として開催されています。このニュースレターの活動報告やイベント情報は、その時のものをまとめたものです。

### 2. ワークショップのプログラム検討

10 月 28 日(日)午後市民センターで実施するワークショップのプログラムをたたき台をもとに検討した。

◎プログラムの流れ(たたき台)◎

あいさつ・主旨説明/プロジェクトの活動紹介/  
ワークショップ/提言づくりに向けたまとめ/  
ディスカッション/まとめ  
(話題提供→検討→連絡会からの提案→まとめ)

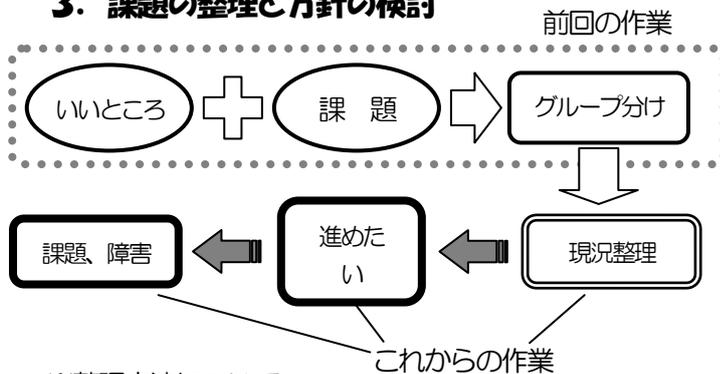
たたき台について以下のようなことが話し合われた。

- ・ワークショップの時間が短い。
- ・学校の活動報告も入れたい。
- ・模造紙で活動報告の参加も受け付ける。
- ・ワークショップは、連絡会議で話し合っていることと同じ事を話し合うのでは時間の無駄。
- ・この連絡会議で議題を絞っていくべき。

→などの意見がだされ、今回は時間切れのため臨時に集まりを設けて話し合うこととした。

結論的には、現在連絡会議で進めている課題の整理を踏まえ話題提供の依頼をお願いします。また、ワークショップで取り上げるテーマも次回臨時の集まりで整理する。

### 3. 課題の整理と方針の検討



※整理方法について

- ・前回の課題抽出ワークショップから得られた意見から現況を整理する。
- ・現況からみんなの思い「進めたい方向」をあげる。
- ・これから進めていきたい方向に対する課題を考える。
- ・このような整理を経て「現況整理」→「方針」→「課題」が浮かび上がる。

### 4. その他

- ・今回は時間切れで課題の検討には至らなかった。次回臨時の会議を設け方針や課題について整理する。

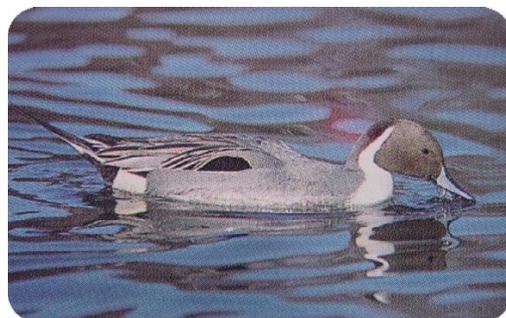
### 5. 今後の日程

- ① 10 月 4 日(木)…臨時連絡会議(方針や課題の整理)
- ② 10 月 18 日(木)…連絡会議(①②18:30 から開始)  
(通常の情報交換、ワークショップの最終調整)
- ③ 10 月 28 日(日)14:00~17:00…ちょうふ環境市民懇談会ワークショップ(市民センター)

## 絵っせい：窓からの風景

ニューヨークで引き起こされた同時多発テロのむごたらしさは、被害にあった市民だけでなく、残された関係者に癒しがたい深い悲しみを与えたことにあります。20 世紀は「戦争の世紀」と総括されましたが、21 世紀初頭に行われたこのテロは、今後、世界にどのようなベクトルとして作用するのでしょうか。今アメリカは戦争に突入しようとしています。10 年前の湾岸戦争時の忘れられないシーンがあります。破壊された油田から流出した重油が海を覆い、水鳥がもがく姿です。戦争はいつも環境破壊の最大の原因です。かの地の生き物と生命が、悲劇的結末を迎えないよう祈らざるを得ません。そして、戦闘に巻き込まれる市民とアメリカ兵の生命も。

アメリカの放送等で自粛する音楽の中に、ジョン・レノンのイマジンが含まれているとの報道がありました。とても悲しいことです。テロを乗り越え、本当に自由で公正な世界への道程を考えると、イマジンほどふさわしい曲はありません。国も人種も民族も性別も人間を隔てることのない、もしかしたら生き物を隔てることもない世界を、レノンは歌っていたのではないのでしょうか。



オナガガモ  
もうすぐカモたちの季節がやってくる

参加しませんか？

## ● 未来の調布の自然をさぐる

### ワークショップ

日時：10月28日(日) 14:00~17:00

場所：調布市市民センター 4階

参加費：無料

内容 ①パートナーシップで行われている環境保全活動の紹介  
②ワークショップ  
③提言づくりに向けて  
④ディスカッション

主催：ちょうふ環境市民懇談会

「自然と共生する調布」を目指し、その課題について考えていきたいと思っています。あなたの思いを描く「未来の調布」をお聞かせください。多くの方の参加をお待ちしています。

## その他の情報

### ■ 都立長沼公園自然観察会

秋の自然観察と野生生物の保全作業、カタクリ等の春植物を育てるための雑木林の保全作業を行います。

日時：10月14日(日) (悪天候の場合中止)

集合：9:30 京王線長沼駅(15時解散予定)

参加費：無料(申込み不要) 保険料：50円

持ち物：軽作業のできる服装と靴、軍手、水筒、弁当、タオル、雨具、観察用具

主催：多摩丘陵の自然を守る会

自然教育研究所、東京都桜ヶ丘公園管理所

問合せ：TEL042-375-1240

### ■ 里山の自然を守り育てる

里山の研究で有名な倉本先生や、神奈川自然環境センターの中川さんらの研究発表があり、生態学研究者として有名な鷺谷先生が講演もしていただきます。研究発表、講演後に総合討論です。

日時：11月19日(月) 10:00~17:00

場所：JAホール(千代田区大手町)

参加費：無料

詳細はホームページに載っています

アドレス <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

## ● 実篤公園自然観察会

日時：11月24日(土)

10:00~12:00、1:30~3:30の2回

定員：各20名

講師：富田 広 氏

申込み：往復ハガキに必要事項を記入の上、下記まで送付。ハガキ1枚で3人まで申込み可。全員の氏名、年齢、住所、電話番号を明記。11月10日必着(応募者多数の場合は抽選)

申込み先：〒182-0003

若葉町1-8-30 武者小路実篤記念館

武者小路実篤が晩年の20年間を過ごした実篤公園は、今では珍しくなった豊かな自然がそのままに残っています。木の実が実り木々が色づく秋、講師の指導のもと普段見落としがちな身近な自然をあらためて見直してみませんか。

### ■ 源流・大菩薩探訪の旅

多摩川源流部は、10月から11月にかけて最も美しい季節を迎えます。今回は、これまであまり知られていない南大菩薩を歩く旅です。源流研究所は多摩川の源流の豊かな水源の魅力を体験する事業を実施しています。

日時：10月20日(土)・21日(日) (1泊)

集合：10月20日 10:00 奥多摩駅

日程：20日 長作観音堂・雄滝・白糸の滝など  
源流巡り-旅館泊

21日 小菅-大菩薩峠(バス)-天狗の頭-  
小菅の湯-駅

対象：健脚で山歩きに自身のある方

費用：1万2000円

(宿泊費、1泊4食付き、保険代、その他)

募集人員：30名

申込み：小菅村役場 0428-87-0111 (佐藤)

小菅村観光協会 0428-87-0741 (亀井)

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。様々な環境保全活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。連絡会議へ是非出席してください。

### ● 次回連絡会議 2001年10月18日(木) 市役所8階第8会議室 18:30~20:30

お問合せ先：調布市環境部環境保全課 小豆畑・倉林 TEL0424-81-7086

発行：ちょうふ環境市民懇談会 E-mail: [kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp](mailto:kankyuu@w2.city.chofu.tokyo.jp)

自然環境の学習や保全に関する情報を募集しています。また、様々なお便りも募集しています。